

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回 船沢中学校区地域意見交換会



と き：平成27年10月8日
ところ：船沢中学校1年A組

船沢中学校区での主な意見を紹介します。

学校の統合は、子どもの数が減っていることから、学校の数を減らしたいということなのですか。



学校の数を減らすことより、適正な教職員数を確保し、子どもたちが集団の中で学ぶことができる教育環境を整えることで、学びの質を上げていくことを目的としています。

小中一貫教育になると、例えば小学校の入学式や卒業式はなくなるのですか。



小・中学校それぞれ必要な行事はこれまでどおりです。子どもの発達を考慮し、区切りとして必要な行事はあります。逆に、全て一緒に行うと小学生の主体性が育たないこともあります。

ICTを活用した授業について、教材は先生が作っていくのですか。それとも体系的なものを使ってどの学校も同じ教材で指導していくのですか。また要望として、無線LAN環境を体育館にも整えてほしい。



教材は先生が作るもの、市販のもの、さらにはICT支援員が作るケースもあります。教材をデータベース化して、どの学校でも使えるようにしていきたいと考えています。

